

平成28年度

自己評価結果

聖マタイ幼稚園

保育理念

本園はキリスト教精神にもとづいて、園にかかわるすべての人々が、神の祝福と愛の恵みの中で、幼な子を中心として、神に感謝しつつ保育をする。心身の発達と人格形成の基礎となる最も大切なこの時期に、望ましい環境を整え、家庭支援や地域との関わりを重視しながら、幼な子にとって最善の保育を目指す。

保育目的

キリスト教の愛に根ざし、幼児の成長の発達にふさわしい環境を設定し、教師が見守りつつ、いろいろな援助のなかで、幼児の心や身体が健康で、明るく全体に調和のとれた、自発性のある子どもを育てる。

保育方法

子どもたちの可能性へのチャレンジとしてモンテッソーリ教育法を取り入れています。クラスは3・4・5才児混合の縦割りです。この教育法を基にモンテッソーリ氏が開発した教具を用いて子どもたちがおしごと（モンテッソーリ活動）に取り組んでいる姿が見られます。整えられた環境の中で子どもたちの自らを成長させようとするエネルギーを支え、「一人のできるように・・・」と自立へ向かう道を援助していきます。

評価項目の達成状況

I 保育の計画性

	評価分類	評価	備考
1	園の教育理念 教育方針の理解	A	
2	幼稚園教育要領の理解	B	
3	教育課程の編成	A	
4	指導計画の作成	A	
5	環境の構成	A	
6	保育と計画の評価・反省	A	

II 保育の在り方、幼児への対応

	評価分類	評 価	備 考
1	健康と安全への配慮	A	
2	幼児のみとりと理解	B	
3	指導とかかわり共同作業者として	A	
4	あこがれを形成するモデルとして	A	
5	心のよりどころとして	A	
6	遊ぶ援助者として	A	
7	保育者同士の協力・連携	A	

III 教師としての資質や能力・良識・適性

	評価分類	評 価	備 考
1	専門家としての能力・良識・義務	A	
2	マナー	A	
3	組織の一員としての在り方	A	
4	保育の楽しみ・喜び	A	
5	まわりを感じ取れる感性・アンテナ	A	

IV 保護者への対応

	評価分類	評 価	備 考
1	情報の発信と受信	A	
2	協力支援	A	
3	守秘義務の遵守	A	
4	対応上のマナー・良識	A	
5	クレームへの対応の仕方	A	

V 地域の自然や社会とのかかわり

	評価分類	評 価	備 考
1	地域の自然・人々とのかかわり	B	
2	小学校との連携	B	
3	地域への開放と支援	C	

vi 研修と研究

	評価分類	評 価	備 考
1	研修・研究への意欲・態度	A	
2	教師としての専門性に関する研修・研究	A	
3	遊具・教材に関する研修・研究	A	
4	園内の環境に関する研修・研究	A	
5	今日的課題に関する研修・研究	A	
6	自らを高めるための学習	A	

評価は A (十分達成できている) B (おおむね達成できている) C (達成に努力がひつようである)

総合評価

子どもひとりひとりにとってより良い保育をする為に、常に教師としての自覚を持ち多様な学びを積み重ねる必要がある事を各自認識している。

平成28年度は新しい教師を採用できた事で、指導する事により自己の学びと振り返る機会が多く仕事をする上でのマンネリ化を防げたと思う。

V項目に於いては地域交流の課題として訪問を行っていた老人施設が閉鎖した為活動が中断している。また園児の入園が広域の為、小学校との連携もスムーズではなかったので行政の指導受けながら多くの交流の機会を持てるよう努力したい。